

東北放送

活動名	民間放送教育協会読み聞かせ事業 ～tbc アナウンサーによる読み聞かせ～
実施期間	令和 7 年 12 月 15 日、令和 8 年 1 月 15 日
実施回数	会場 2 回

【事業実施の成果・課題】

昨年に引き続きリアルで開催させていただきました。

今回も弊社・杜のホールで実施しました。利府町立菅谷台小学校 5 年生の生徒、仙台市立金剛沢小学校 5 年生の生徒が弊社見学に訪問された際に冒頭で読み聞かせ事業、話し方教室等を務めさせていただきました。併せて「小学校授業支援事業」として弊社の活動、仕事の内容について DVD でご紹介させていただきました。終了後、テレビスタジオ見学、ラジオスタジオ見学にご案内させていただきました。両小学校の生徒たちは普段はテレビでしか見れないアナウンサーの生での朗読、話し方教室に非常に興味を持って耳を傾けていたと思われます。各小学校の生徒たちは充実した 1 日だったと推察されます。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<第 1 回 利府町立菅谷台小学校 守屋周アナウンサー>

小学生が静かにしっかり聞いてくれ、終わった後には質問も出て有意義な時間になりました。人前で話すコツについて、今後の学校生活において少しでも役に立ててもらえたら嬉しいです。

<第 2 回 仙台市立金剛沢小学校 増子華子アナウンサー>

気仙沼の方言での読み聞かせは難易度が高く、小学生にも理解しやすい言葉に置き換えるなどの工夫をした。読み聞かせを終えてから、分からなかった部分についての質疑応答を行い、児童から言葉の意味についての質問がいくつかあった。子どもたちが地元の方言に触れる機会は大切にしていきたいものなので、今後もこうした取り組みを通して地域の民話や風習に興味関心を持ってもらえるようにしていきたい。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

<利府町立菅谷台小学校 生徒の感想>

- ・人物ごとに声のトーンや大きさ、速さを変えて話していた。
- ・感情がこもっていて、とても聞きやすかった。さすがアナウンサーと思った。
- ・昔の言葉でも聞こえやすく、話が分かってよかった。
- ・自分がまるでその人物かのように話していてすごかった。
- ・普段聞く読み聞かせと違って、声の強弱が上手でした。
- ・すごく聞きやすく、人物によって声を変えていて、絵本じゃなくても分かりやすかった。

<仙台市立金剛沢小学校の感想>

・気仙沼弁で話している増子華子さんが読んでくれて嬉しかったし話の場面とかで声の大きさとか感情がこもっていてすごく良かったです。いところがいつも泊まりに来たら本を読んどと言われるのですらすら読めていて私もすらすら読めるように頑張りたいと思います。話し方教室ですごく勉強にもなるしたまに大人でもわからないと言うところがあっても答えてくれて優しい方だなとおもいました。増子華子さん tbc さんありがとうございました。

・気仙沼弁がいっぱい分かって良かったです。かなり表現や発音が独特だったので、勉強になりました。キツネが他のキツネの密談を聞いて、和尚さんに密告して、トラップを仕掛けるというのがおもしろかったです。また、話し方教室では、友達が泣いてたり、友達とけんかしてしまったときの友達への声のかけ方や、声の出し方を近くにいる人と、遠くにいる人とで、変えたりすると良いなどということをお教えくださり、東北放送の増子アナウンサー、ありがとうございました。